

さんま通信



厚生中央病院だより 第23号 2010年

秋



9月1日
より

助産師外来がはじまりました



助産師外来とは、妊婦の定期健診および保健指導を助産師が行う外来のことです。

1人30分の時間をとり、ゆっくり妊婦さんと関わり、妊婦生活を安全に安心して楽しく過ごすことができる様に支援することが目的です。

21年12月より「助産師外来プロジェクト」を立ち上げ、企画や基準などを繰り返し検討してきました。ここまでの道のりは決して簡単なものではありませんでしたが、無事に開設することができ、嬉しく思っています。ご協力して下さった全ての方々に感謝申し上げます。

助産師外来係からのコメント



初めは緊張しましたが、妊婦さんとゆっくりお話ができて私たちも楽しいです。

実際に外来を行ってみると、自分の知識や技術が不足していると感じ、今後ますます自己のスキルアップに努めていきたいです。

今まで色々考える事が大変だったけど、開設することができて嬉しいです。

音楽をかけて、話しやすい雰囲気になるように努めています。
冷え性の妊婦さんが多いので温かいハーブティーをお出ししています。

実際にスタートして、様々な改善点も見えてきたところです。
まずは、助産師外来を定着させて、問題点を解決し、助産師外来の質の向上に向けて前進していきたいです。
みなさんもぜひ見学にいらしてください。



*** 助産師外来のご案内 ***

健診日時

- ★月・火・木・金曜日 午前9時～午後3時(完全予約制です)
- 土曜日 午前9時～午前12時(//)
- ★1人あたり30分

料金

★5,000円

場所

★精神科外来

目次 contents

- 助産師外来がはじまりました …… 1
- C型肝炎ウイルス検査のお勧め … 2～3
- 電話による初診予約について …… 4
- 三田町内会のお祭りに参加



目黒で野駈けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくないと。即座に『さんまは目黒に限る!』
当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

C型肝炎ウイルス検査のお勧め

消化器内科

服部 克哉

『C型肝炎は治せる病気になってきました。』で始まるテレビコマーシャルをご覧になったことはありますか？ C型肝炎ウイルス（以下HCV）に感染すると70%の割合で持続する感染となりC型慢性肝炎からC型肝炎硬変、肝細胞癌へ20～30年かけて移行する恐れがあります。日本に200万人、世界に1億7000万人のHCV陽性患者さんがいると推定されています。HCV感染最大の問題点は肝細胞癌を発症してくることです。肝細胞癌で年間3万人の方が命を落としています、その70%以上がHCV陽性患者さんです。C型肝炎硬変になると年間7～8%の確率で発症し、一度発癌した患者さんでは年間発癌率が20%まで上昇します。このため当院外来でもHCV陽性の肝硬変患者さんに毎月の腫瘍マーカー検査と3ヶ月毎の画像検査を行い肝細胞癌の早期発見、早期治療を行っています。しかし一旦発癌するとその治療はまさに「もぐらたたき」になってきます。癌を1つ治療してもしばらくすると別の場所に新しい病変が出現します。HCV感染で大切なのは発癌リスクの高い肝硬変に移行する前の慢性肝炎で抗ウイルス療法をすることです。

前述のコマーシャルですが、『新しいインターフェロン治療により「治りやすいタイプ」の人では約90%、「治りにくいタイプ」の人でも約60%に高まりました。』と続きます。日本人は残念ながら約70%の方が「治りにくいタイプ」です。このタイプは以前のインターフェロン単独療法で10%程度しか治りませんでした、現在の週1回のインターフェロン注射と1日2回の内服薬を48週間～72週間行うことで約60%が治ります。また今後登場する新たな抗ウイルス薬（telaprevirテラプレビル）併用で更なる効果が期待されます。



インターフェロン治療について副作用を心配される方が大勢います。確かに血球減少症、倦怠感、抑うつなど副作用はありますが、ウイルスを除去し病気の進行をストップできる唯一の治療法であり癌発生抑制効果もあると言われています。年齢制限も以前は65歳が標準でしたが、現在の治療は75歳の方も継続できています。また当院では95%の方が外来のみで治療をされています。B型肝炎およびC型肝炎治療は医療費助成があり平成22年4月から自己負担限度額は月額1万円または2万円（従来は1万円、3万円または5万円）で治療を受けられます。

HCV感染ですが感染原因の約40%がHCV検査導入前の「輸血」によるものです。その他「入れ墨」、「針治療」、「ピアス」、「覚醒剤」、「母子感染」、「夫婦間感染」などありますが「感染経路不明」が40～50%もあります。「沈黙の臓器」といわれる肝臓は慢性肝炎、肝硬変でも自覚症状はあっても倦怠感程度です。医療機関を受診していないHCV陽性患者さんが100万人近くいると予想されています。また肝炎ウイルス検査陽性と判定を受けても専門機関を受診されていない患者さんが相当数います。血液検査だけで感染の有無は判定できます。目黒区では「40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない方」、「特定健診の肝機能数値が異常で、問診項目に該当し医師が必要と認めた方」を対象に6月から11月までの半年間、目黒区内指定医療機関にて無料で検査が出来ます。また緊急肝炎ウイルス検査として目黒区内在住の方で「健康増進事業における検診対象外で16歳以上かつ過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない方」も目黒保健所他で平成23年3月まで無料で検査出来ます。皆さんぜひ肝炎ウイルス検診をお受け下さい。なお当院外来で肝炎検診はしていませんが、肝炎についてご心配な事があればご相談下さい（月曜日午前・午後、金曜日午前）。



電話による初診予約について

当院では、患者さまの利便性を向上させるため、初診予約を電話で受け付けております。
(ただし、産婦人科、麻酔科は除きます。)

受付時間 平日(月曜から金曜) 午前9時から午後4時まで
電話番号 03-3716-8124 (予約専用)

- *診療の都合によっては、予約時間に診察できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- *初めて受診される方やしばらく通院していない初診の方で、他院からの紹介状をご持参いただけない場合は、保険外併用療養費として初診料に3,150円が加算されます。

三田町内会のお祭りに参加

9月12日(日曜)、今年も恒例の三田町会のお祭りに参加しました。当日は天候にも恵まれ、三田町会の方々と職員が一丸となり御神輿を担ぎました。例年同様に当院正面玄関前にも御神輿が練り歩き、入院患者さんにも雄姿を披露することができ、残暑厳しい日ではありましたが、良い一日となりました。



病院の理念

- ・私たちは、心の通った温もりを感じる医療を目指します。
- ・私たちは、組合被保険者ならびに地域の人々の健康と福祉に貢献します。
- ・私たちは、病院機能の充実を図り、サービス向上のため日々研鑽します。

基本方針

「健全な経営と安全で質の高い地域中核病院を創造する」

行動目標

- ・私たちは、患者さんから選ばれる病院を創り上げる。
- ・私たちは、効率的で質の高い安全な医療を構築する。
- ・私たちは、安心と誇りを持って働き、一番大切な人を受診させたい病院にする。

患者さんの権利

- ・最良の医療を受ける権利
- ・病気について、理解可能な言葉で説明を受ける権利とその説明に対して意見を述べる権利
- ・プライバシーが守られる権利
- ・転院の権利
- ・診療情報の開示を求める権利

患者さんの義務

- ・自己の療養に関して病院職員に協力する義務

